



しばた議会だより



おいしいお餅に
なりますように！

(柴田小学校5年生)

■9月定例議会	・ 20年度決算を認定	2・3
	柴田町の財政は？(県内比較) 町の借金残高の推移など	
	・ 住民自治によるまちづくり基本条例 審査特別委員会を設置	9
	・ 一般質問	10～17
■常任委員会レポート		18
■あなたの一言 (稲垣 <small>いながき</small> 晃 <small>あきら</small> さん)		20

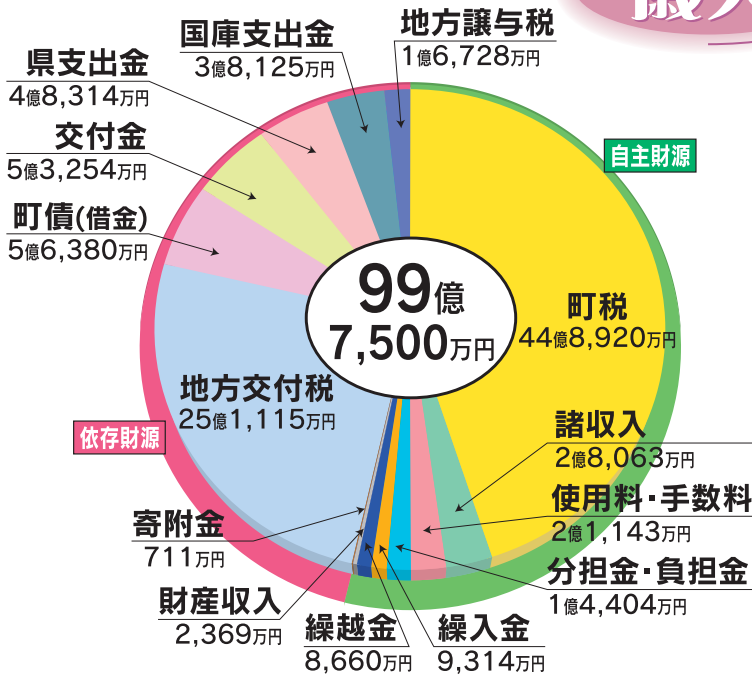
一般会計 97億円など

総額
196
億円の決算を認定

不況により町税収入が減少

地方予算削減で地方交付税も減

一般会計
歳入



町税収入が 1億円の減

平成21年9月議会は9月4日から17日までの会期で開催され、平成20年度の一般会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の決算をそれぞれ賛成多数で認定しました。

るか、国の地方予算の増減、規律を守った起債(借金の借入れ)が重要になってきます。

安定した収入を得るためには町内でも雇用の確保や子育て支援の充実などにより人口増に結びつけ税収確保を図ることが重要です。町内では新規工場の建設などで税収の増が期待されます。

20年度の歳入は不況と雇用の悪化の影響を受けて、一番の収入源である町税収入が約1億円の減収になっています。また、収入全体の約4分の1を占める国からの地方交付税は前年度税収入増が要因となり6千万円減っています。前年度比では国や銀行などから借入れをした町債(借金)が1億2千万円増えていきます。

課題は安定した 収入の確保

今後の財政運営では、いかに町税収入を確保す

柴田町の財政は ~県内比較に見る

健全化判断比率の4指標及び資金不足比率について町長より議会に報告されました。そのうち、実質公債費比率及び将来負担比率について紹介します。

○実質公債費比率

柴田町 16.2 県内7番目

=数値が大きいほど固定経費、借金の支払いが大きく財政運営が大変な状況を示します。

1位	村田町	19.5
2位	加美町	19.4
3位	栗原市	17.5
	↓	
7位	山元町	16.2
7位	柴田町	16.2

○将来負担比率

柴田町 91.8 県内22番目

=数値が小さいほど将来の負担(借金の支払いなどが減っていく)が少なくなります。

1位	村田町	218.1
2位	色麻町	182.4
3位	栗原市	177.3
	↓	
22位	柴田町	91.8

■指標から、柴田町の財政は現在苦しいが将来は負担が減っていくことが読み取れます。

(「宮城町村議会資料」より)

借金返済は依然高水準

支出を抑えながらも子育て支援などは増加

一般会計
歳出

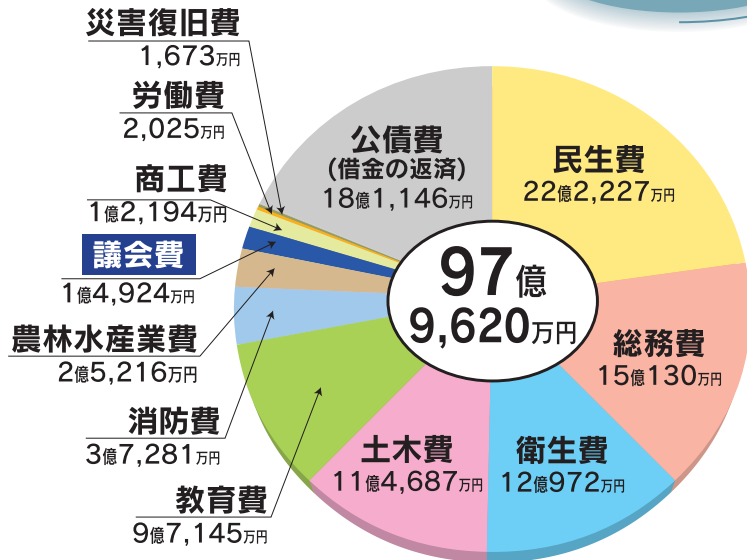
20年度に行った事業



地域支援センターしらさぎ



下水道の工事



借金の支払いに 18億円

借金の支払いは20年度も18億円と依然高い水準にあります。この傾向は数年間続きます。

しかし、借金の残高は昨年度に比べ16億円の減（うち一般会計で10億円）と借金を増やさずに財政運営はできています。

ただし、実施が待たれている事業は山積みで、これからも町の財政が規律を守って運営されていくか、今後数年間正念場が続きます。

財政再建プランで 人件費を抑制、 子育て支援などは増

財政再建プランの実施で人件費が抑制されています。

乳幼児医療費無料制度の拡充などの支出は増え、緊縮型でも必要な予算は確保されています。これからも子育て支援、

高齢者福祉などの社会保障関係予算の伸びは続きます。

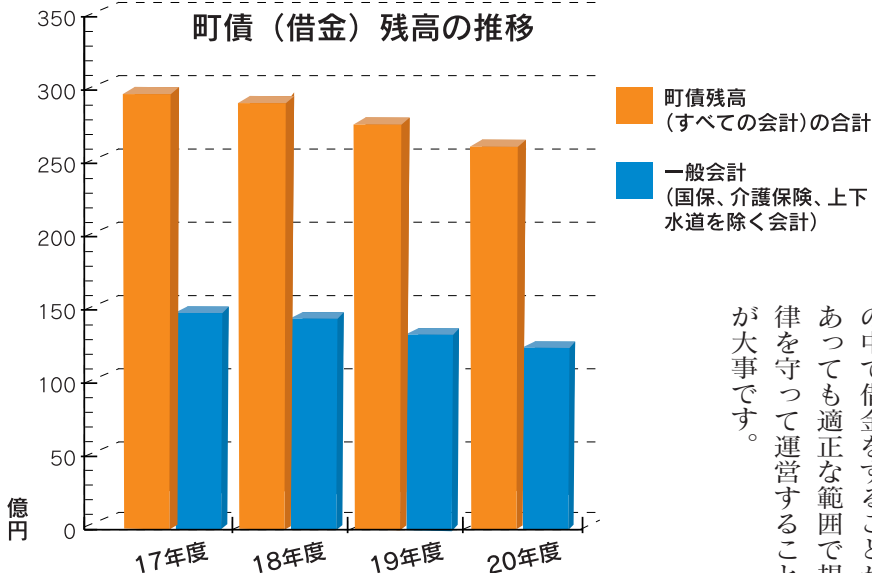
さらに、平成25年度までは財政調整基金を取り崩しながらの運営が続くものと予想されます。議会としても、財政規律を守った運営が行われるようチェックしていきます。

財政再建プランで町の借金は減ったのか

左のグラフにあるとおり、町の借金残高は年度を経るごとに減ってきています。

平成19年度から20年度にかけては10億円減っています。今後、財政運営の中で借金をすることがあっても適正な範囲で規律を守って運営することが大事です。

町債（借金）残高の推移



総括質疑

問 町税の収納率アップの方策は

- (1) 町財政にとって町税や国保税の収納率を上げることは重要課題である。
- (2) は。
- 地方分権や行財政改革の実施などに伴って、役場職員の仕事の質や量が大きく変化している。

税の公平性の確保や医療保険制度の安定維持のために、滞納者を減らすための効果的な取り組みが必要。20年度の徴収の結果と今後の収納率アップの方策

答 納めやすい環境づくりを努める

- (1) 20年度の収納率は93・1割で、景気低迷が収納率の低下に影響した。対策としては納税相談を実施し、失業等で収入減となった方には分納などで滞納の解消に努めている。一部納税者には差し押さえ等の滞納処分を強力で講じていく。
- (2) これまで宮城県市町村職員研修所や県に職員を派遣して研修を実施してきた。今年度からは、さらに職員自らが実際に聞き取り、今後の施策に生かせるような先進地視察研修を実施している。今年度は北上市へ職員17名を派遣した。



大坂三男 議員

総括質疑

問 財政再建プランの修正は必要ないか

ここ数年、地方予算の削減が続いており、町も厳しい財政運営を余儀なくされている。

- (1) 国に対して地方政策の変更を求めるか。
- (2) 国に対して交付税の一时的な増額ではなく、地方交付税の増額を求めていく考えはあるか。
- (3) 財政指数からみて20年度決算をどう考えるか。
- (4) 財政再建プランの修正なしで財政運営を続けられるか。
- (5) 21年度は待機事業に着手してきている。今後、財政規律を守りながら事業を進めていけると考えるか。

答 修正せざるのみまま進めよう

- (1) 新政権になり改革の方向は出されているが、今後も地方自治体が自立できる財政制度の確立を働きかけていきたい。
- (2) 三位一体改革以前に戻るのが急務だが、交付税の増額、本来の一般財源の保障システムに戻すよう訴えたい。
- (3) 財政指標からみて、財政再建プラン実施で好転していると考ええる。
- (4) 今後も財政調整基金を6億円保持しながら、財政運営をしていきたい。
- (5) 税収の減は前倒しで進められてきた国の施策が元に戻るだけなので特別なことではない。



広沢 真 議員

総括質疑

問 合併しないで財政健全化できるのか

(1) 財政再建2年目、合併協議会から離脱して財政健全化ができるのか。

- (2) 質の高いコンパクトシティを4つもつくとという構想の中身を伺う。
- (3) 財政再建プランの「職員定数管理の適正化」により、職員削減
- (4) 宮城県沖地震に備えて、町の心臓部である役場庁舎の耐震診断はどうなっているのか。補強で耐え忍ぶのか。それとも新庁舎建設を考えているのか。

答 自立の町づくりで財政健全化できる

- (1) 自立を選択した方が行政改革に取り組める。合併以上の行財政改革を行い、財政健全化にめどをつけたい。
- (2) コンパクトシティ構想は、4つのエリアをネットワークで結び都市機能を集約させる町全体のブランドデザインであり、4つのコンパクトシティをつくる
- (3) 職員1人当たりの業務量が増えている。過剰な業務を減らすため行政サービスの見直しを図る。
- (4) 役場庁舎の耐震診断の結果必要となれば、順次耐震工事に取り組み。新庁舎の建設は考えていない。



星 吉郎 議員

税金

9月14日に決算審査特別委員会を設置し、平成20年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審議を行い、原案のとおり認定し17日に終了しました。質疑の内容の一部を紹介します。

決算審査特別委員会

の使い方を審査しました！

住宅使用料の滞納が多いのはなぜか

質疑 住宅使用料の滞納額が、調定額の34%にも達している。その内容と対策は。

答弁 通常、入居者が所得申告すると階層別家賃制度で家賃を算定するので一定分が抑えられる。申告をしないと近隣の住

宅並みの家賃をいただくことになっていて、それが近年住宅使用料の滞納の増になっている。滞納している方々には、分納等をお願いしている。



人気の高い北船岡町営住宅

法人税の税収はどうか

質疑 20年度に町内で企業の倒産または廃業はあったか。また、それにより法人税の収入が減ったか。

答弁 大きな浮き沈みは余りなく、ほとんどの会社に推移はない。リーマン問題により今年になって、休業や雇用の中止はあったが、20年度は大きな動きはなかった。

不納欠損額の状態

質疑 町税の不納欠損の内容と対応は。

答弁 町税は、一般会計で279名。内訳は町民税163名、法人町民税2名、固定資産税74名、軽自動車税40名。住宅使用料については10件となっている。分納誓約書の提出、一部納付、差し押さえなど時効の中断を図りながら納めていただいている。

入札状況の総括は

質疑 20年度全体の入札状況をどのように総括しているのか。

答弁 平成19年度と比較すると工事関係入札だけで64件になり、昨年より若干増えている。そのうち制限付一般競争入札は6件だった。これは2千500万円以上のもので、21年度も同様に行っている。6件の平均落札率は、昨

年と比べ4・36ポイントと高くなった。

業者も企業努力をしているが、工事費全体を低く抑えようとしても、資材費が安くならない状況の中で落札率が高くなつたと考えている。

放課後児童クラブの増設を

質疑 放課後児童クラブの教室が狭いと思われる。特に人数の多い船迫小と榎木小については2つに分割すべきでは。

答弁 定員それぞれ60名となっている。榎木放課後児童クラブは一日平均約42人で、夏休みなど長期休暇の利用が多くなっている。雨天時は教室内

で活動するので、校舎の空き教室を利用したいと調整しているが難しい。スペースを確保するため

財政支援メニューを探している。他市町では、プレハブで実施しているところもあるが、恒久的には使えないようである。今後検討していきたい。

文書発送費用は

質疑 文書管理事業中、文書発送の費用はいくら必要になるのか。

答弁 月別合計で1万件ほど前年度よりも多くなっている。通信運搬費として、年間約600万円から700万ぐらいの予算を確保している。

交通安全施設の整備状況は

質疑 危険箇所におけるカーブミラーの設置状況は。

答弁 カーブミラーは、西船迫高齢者横断モデル地区事業で一番危険だと思われるところに2カ所、新栄大通線などに計6カ所設置した。

犬の苦情処理状況は

質疑 犬の散歩や飼い方のマナーに関する苦情に対するの処理はどうしているのか。

答弁 散歩中に犬にかまれた事故が6件あった。これは町の管轄ではないが、保健所と町の担当者が

が現場に行き、話をしている。犬のふんについては、散歩のとき持ち帰ってもらい、燃えるごみに出すよう狂犬病注射時やお知らせ版などで周知啓発を図っていく。

地域防災計画の委託料と配布先は

質疑 地域防災計画改定業務委託料のトータルはいくらか。また、その配布先は。

答弁 平成19年度200万円、平成20年度178万円、トータルで378万円。主に町議会議員、行政区長、消防関係機関、近隣市町村、

国、県の関係機関、町内の各公共施設、庁舎内の各課に配布した。

の各公共施設、庁舎内の各課に配布した。

交通安全講習会などの参加人数は

質疑 高齢者横断事故防止モデル地区として西船迫地区が指定を受けている。交通安全講習会、安全教室など、どれくらいの参加者があったか。

答弁 西船迫のバイパスで死亡事故などがあったことから、5つの行政区、

老人会、仙南自動車学院などと一緒に危険箇所の交通事故防止活動を8回行い、21名の参加者があった。活動の中で啓発文書を作成して、5つの行政区に全戸配布し、高齢者に呼びかけを行った。

行政区に全戸配布し、高齢者に呼びかけを行った。



放課後元気に遊ぶ子どもたち(榎木児童館)



新設されたカーブミラー(若葉町)

緊急通報システムの増設見込みは

質疑 ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業で設置している機器の単価は。

答弁 1台の単価は6万円900円、維持費に年間1万

4千800円かかる。障害者の通報システムも同じ仕組み。本人が自力で通報できない方を優先的に審査し設置している。

不法投棄はあるか

質疑 林道上野線で巡回清掃を行っているが、実際に何回くらい巡回しているのか。また不法投棄はあるか。

答弁 年に30回ほど巡回清掃を行っている。特に

雨の降る時期には月4回、それ以外は月2回行っている。不法投棄等については、林道上野線全体では年々少なくなってきた。



ウオーキングのコースにもなっている林道上野線

企業周辺の道路整備は

質疑 東北リコートナー工場ができる、交通量は増えると思われる。周辺の道路整備は。

答弁 国土交通省の補助事業の地域活力基盤創造

交付金事業にのせて東北リコー周辺の道路整備をしていく。幅員も考え、歩道の整備も計画に入れている。

新規採用する職員の職種は

質疑 人員削減が進み過ぎて、財政再建プランの予定よりも13名減となっている。特に若い人の採用についてどんな職種を考えているか。

答弁 技術職については

保育士や保健師を補充していく。また、学校建築、耐震化など建築の方も考えながら採用していく。定員適正化計画の見直しをするので、今年度中方向性を定める。



早期の整備が待たれる町道

学校給食に地場産品を

質疑 食品の偽装問題がある中で、学校給食は子どもたちに安全安心な食料だったのか。今後、もつと地場産品の利用は考えているのか。

答弁 食品衛生法を遵守した衛生管理対策を十分整え、安全かつ安心な食料の納入を促している。なお、中国製の野菜は2

割ほど利用している。地場産品に関しては、町内の生産者の顔の見える野菜をと考えているが、1日あたり3千500食になるので難しい。20年度は新たにネギ、干しタケノコを利用している。今後もできるだけ町内産を利用していきたいと考えている。



楽しい給食の時間(船岡中学校)

国際交流チャレンジ事業の今後は

質疑 国際交流チャレンジ事業はこれからも続けていくのか。

答弁 平成19年度はアメリカに行き、平成20年度はホームステイを受け入れたが、21年度について

はアメリカに行く予定を取りやめて、ALT（英語指導助手）に振りかえた。平成23年度から小学校5、6年生に年間35単位の英語の時間を組み入れていく。

教育に関する対話集会の開催は

質疑 以前、町民との教育に関する対話集会があった。教育の現場を知る機会となりよかったが、また行う予定はあるか。

中学校が24年度から学習指導要領が変わる。2、3年で定着するので、その後、町民に意見を聞くために開催することを考えている。



水をきれいに(西住小学校)

観光PRもホームページ利用を

質疑 これからの観光はお金をかけずにやる方法を考えていかななくてはならない。ホームページを利用してPRすべきでは。

田の観光や物産等を紹介するように立ち上げたい。現在、町のホームページは各課で更新できるようになっている。各課のページは職員が更新できるようにになっていて、急なイベントにも対応している。

プールにEM菌利用を

質疑 プールにEM菌をまき、水の浄化を図る活動が西住小学校と柴田小学校で行われている。その効果はどうだったか。

質疑 中学生の地域活動、社会活動、体験活動事業をしているが具体的な内容は。

答弁 利用している学校からは、プールが洗いやすい、汚れが落ちやすい、においも少ないと聞いている。もう少し様子を見て、効果があればEM菌の利用を考えていきたい。

13歳の社会のかけ橋づくり事業の内容は

答弁 榎木中学校は川の果たす役割をテーマに講演会を行い、その後、阿武隈川河川敷のごみ拾いを行っている。船岡中学校は学校から公共施設までをグループで清掃、船岡中学校は学校から船岡駅までの清掃活動を行っている。



柴田消防署の放送設備

消防署によるチャイムの活用方法は

質疑 社会を明るくする運動の中に「消防署で時刻を知らせるチャイムによる啓発などを実施している」とあるが、チャイムによる啓発の意義は。

また、榎木でも鳴らしてほしいと要望があるが。
答弁 青少年の健全育成ということで住民に定期的な時刻を知らせ、青少年に帰宅を呼びかけている。また、消防施設の整備点検の意味合いも含め、いざというときに使えないと困るために実施している。現在は正午と夕方5時にチャイムを鳴らしている。現在は柴田消防署のみで、榎木派出所は放送機械とサイレンなどの設備はあるが、時間を設定してチャイムを鳴らす設備はない。

住民自治によるまちづくり基本条例審査特別委員会を設置

町長より住民自治によるまちづくり基本条例が上程されました。質疑を行ったあと「住民自治によるまちづくり基本条例審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査となりました。
平成21年11月30日までの間、委員8名によりこの条例の審査を行います。



10月2日に開かれた特別委員会

質疑 2月議会では住民の自治意識が低い、土壌ができていないなどの理由で否決されたが、町民のまちづくり基本条例に関する関心は高まったと判断しているのか。

答弁 住民ベースで条例をつくり上げている。つくる会の方々には活動を継続していただいております。人形劇で説明したり、向いて話をさせていただくなど、関心を持ってもらうような活動をしている。また、ワークショップを町内3会場で開催し、町民の方々に参加をいただいている。まちづくりの担い手ということで、

決して関心が低いとはとらえていない。

質疑 まちづくり基本条例第18条第3項には、「町長は、基本構想を変更する場合、住民等に意見を求めるものとする」とあるが、議会が入っていないのではないのか。

答弁 基本構想については地方自治法に「議会の議決による」との規定がある。基本構想や基本計画を議会で審議する前に、住民がかかわっていくという観点から定めた。

審議日程
平成21年10月2日、
23日、11月9日
午前10時から

○場所 議会委員会室
○委員会メンバー

- 委員長 水戸 義裕
- 副委員長 安部 俊三
- 委員 高橋たい子
- 佐々木 守
- 廣沢 真
- 有賀 光子
- 舟山 彰
- 白内恵美子

※この委員会は傍聴できます。

21年度補正予算可決

今回の補正は、一般会計では、制度改正や緊急の対応に要する経費を計上。各特別会計と水道事業会計の補正も左表のとおり計上され、すべて原案のとおり可決されました。

質疑 遠距離通学生徒に対する助成の距離の基準と助成金額は。また、該当する地域はどこか。

答弁 小学校は4km以上7千円、中学校は6km以上9千800円の助成を行っている。

質疑 区と槻木中学校に通学している葉坂、入間田、成田地区の生徒。

質疑 里山ハイキングコースについて詳しく説明をお願いします。

助成地域は、槻木小学校に通学している富沢地区と来年度の2カ年で実施する委託事業である。事業内容は主に四日市場から富沢、入間田、葉坂、成田、上野山のグリーンベルト地帯に、何コースかの山や旧跡を利用したハイキングコースを設定したいと考えている。



里山には見所がいっぱい

会計の区分	補正額	補正後の額	
一般会計	2億2,060万円	104億5,708万円	
特別会計	国民健康保険事業	1億5,355万円	36億3,386万円
	老人保健	720万円	904万円
	公共下水道事業	595万円	16億1,853万円
	介護保険	3,435万円	17億8,808万円
	後期高齢者医療	625万円	2億6,727万円
水道事業会計	収益的収入	-	12億3,485万円
	収益的支出	621万円	13億2,370万円
	資本的収入	-	1億4,820万円
	資本的支出	249万円	6億505万円

人事案件

○教育委員会委員の選任に同意

再任（船岡土手内）

鈴木清子氏

○人権擁護委員の推薦に同意

再任（船岡東）

桂川クメ氏

一般質問

ズバリ



あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は9月7日から9日までの3日間で行われ、13人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



大坂三男 議員

Q 学校の施設整備はいつ実施するのか

A 建て替えや大幅改修は22～23年度に前倒し予定



22年度に改修予定の船岡中学校の校舎

問 校舎や体育館の建て替えや大規模改修の話が出ているが、計画が随時変わっているので説明を求めらる。

答 国の経済危機対策臨時交付金や公共投資臨時交付金など、学校の施設整備に有利な制度が創設されたことで事業年度が大幅な前倒しが可能となった。①船岡中学校体育館は平成21年度に耐力調査と実施設計を行い22年度に建設する。災害時の避難所としての機能

も備える。

問 ②船岡中学校の校舎は22年度に耐震補強とあわせての大規模改修工事の実施を予定している。12月議会に約3億円の補正予算を提案する予定である。③槻木中学校校舎については21年度に耐力調査を行い、その結果国の補助対象となれば23年度に校舎建て替えに着手し、25年度の完成をめざす。

答 町の一般財源を含め1億6千600万円規模で25件の事業に取り組み、現在の進捗率は68%である。
問 「地域活性化・公共投資臨時交付金」について本町では何に活用するか。
答 国の詳細情報が示されていないが、既に採択となっている事業は、上野林道と雨乞林道の補修工事と船岡中学校校舎の補強・大規模改修工事である。



白内恵美子 議員

Q 地域安全マップ
づくりの
取り組みを

A 県事業の
「マップづくり講座」開催有力



先進地に学び柴田でもマップづくりを
(写真は大阪府寝屋川市立和光小学校)

犯罪学では場所に注目する立場を「犯罪機会論」と呼んでおり、犯罪の機会を与えないことにより犯罪を未然に防止するという考え方である。子どもを犯罪から守るためには、犯罪者が好む「入りやすく、見えにくい場所」を、「入りにくく、見えやすい場所」に変えていくとともに、子ども自身に危険を予測し回避する能力を与える教育が必要だ。犯罪が起こりやすい場所を表示した「地

域安全マップ」を子どもたちでつくれば、子どもでも犯人目線に立てるようになり、犯罪者が好む場所を発見できる。また、マップづくりにより、被害防止能力の向上、コミュニケーション能力の向上、地域への愛着心の向上、非行防止能力の向上、大人の防犯意識の向上が期待できる。

問 柴田町においても、提唱者である立正大学の小宮教授に来ていただき、地域安全マップづくりに取り組むことを提案する。
答 宮城県の取り組みで「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり」のための地域安全支援事業がある。登米市ではこの事業を活用し、小宮教授を講師に招き、地域安全マップづくりのための「リーダー養成講座」を開催した。県に対し柴田町での開催を要望したところ、「今年度開催町として有力」との返答だった。



舟山 彰 議員

Q 上半期の
子育て支援の
成果はいかに

A 充実に努めている



ハイ、おやつ時間でーす(槻木保育所)

議会では11月に議会懇談会の開催を予定しており、今年のテーマは「子育てしやすいまちづくり」である。そこで、主に児童福祉について町の各種事業の上半期の成果を問う。

問 延長保育事業の利用状況は。
答 船岡保育所が延べ1千397人で一日平均13・1人。槻木保育所が732人で一日平均7.1人。西船迫保育所が401人で一日平均3.9人。

問 子育て応援特別手当事業の支給状況は。
答 9月1日現在507世帯で、支給金額は1千900万8千円(未申請2世帯のみ)。

問 母子・父子家庭医療費の助成対象世帯数は。
答 9月1日現在の対象世帯は350世帯で、これまでに242万9千円の助成を行った。

問 町の事業に対する町民の苦情や要望はいかに。そして、それらの対応は。
答 事務手続きが煩雑な

ことなどの苦情が数件あった。
次世代育成支援地域行動後期計画策定のためのアンケート調査の自由意見では、保育サービスや遊び場、医療費などについての意見が多く寄せられた。
これらについては真摯に受け止め、改善できるものは改善し、子育て支援の充実に努める。



平間奈緒美 議員

Q 新栄通線につながる道路整備は

A 特に緊急度の高い路線は22年度に着手したい



通行する人の安全確保を(東神山前地区)

新栄通線を中心とした整備が進んでいる。周辺の整備も進み、交通量も多くなってきた。しかし、新栄通線につながる道路は通学路になっているにも関わらず、道幅が狭く、不便な状態である。

問 快適に安心して生活できる環境の整備をどう考えているのか。

答 新栄通線は、都市再生整備計画に基づき、「住む人への安心とゆとりをもたらす快適な住環境整備

備」を大きな目標としており、交通の利便性、防災性の向上、歩行者の安全確保とさくら回廊等の整備などが事業の概要である。まず、七作地区道路整備事業の採択を受けた町道、11路線については本年度中に完成の予定。その他、新栄通線につながる町道も町の財政に負担がかからない事業を選択し、計画的に実施していく。

問 新栄通線につながる道路整備計画は。

答 七作地区道路整備事業終了後、町道船岡東47、49号線については来年度着手したい。その他町道船岡東44、45、48号線についても水路敷の歩道整備も含めて検討していく。

問 土側溝や通学路の水たまりなど市街地としてはまだまだ快適な環境ではないのでは。

答 快適な環境は重要な要素。順次計画を立てて整備していく。



佐々木裕子 議員

Q 一日も早い地域交通機関の運行を

A 5カ年のうちには実証、実験まで踏み込む



角田市のデマンド型乗合いタクシー

問 住民のための交通機関確保についてどのようなことを考えているのか。

答 高齢化社会に向かう地域社会を考えると、コンパクトシティの実現に向けて新交通機関の整備は欠かせない社会的インフラであり、住民の実需要や意向を確かめて利用者も出資するような新公共交通システムを育てるなど、柴田町らしい施策を選択していきたい。

問 観光客の足の確保も必要不可欠なのは。

答 太陽の村や槻木の名所・旧跡は駅から遠く、交通機関があれば観光客の利用につながると思うが、コストを考慮すると設置は困難で、宿泊や宴会客の送迎が限度。

現在槻木の山手は里山ハイキングコースを整備したうえで、観光客の状況に応じたシャトルバスの送迎運行を考えている。

問 交通機関の運営・運行で、調査・研究など、手がけていることは。

答 新公共交通は5カ年

計画に盛り込み、各地の導入事例・運行実績を収集する。あわせて平成22年度国土交通省補助事業「地域公共交通活性化総合事業」の補助採択に向け、国に打診中である。

現段階では、巡回バスよりもデマンドタクシーやふれあいネットワーク事業で実現しつつある地域互助による移送事業など、小回りのきく経済的負担の少ない事業の実現を考えている。



水戸義裕 議員

Q 新型インフルエンザ対策は大丈夫か

A 関係機関と連携し万全を期す



仙南保健所は2市7町を管轄しています

昨年12月議会に続き、新型インフルエンザ対策について伺う。

問 インフルエンザ対策で町民への予防と県、医師会などの連携はどうか。

答 国、県、医師会との連携は不可欠であり、行動計画と情報の提供を受けてきた。保健所、町医師団とも協議・指導を受けて体制整備をしている。近隣市町との連携や役場内関係課でも協議し感染防止に万全を期す。

問 チラシ以外で町民への周知はどうか。高齢者世帯や障害のある方たちへの周知はどうか。

答 対策本部を設置し、町ホームページ、お知らせ版にて情報を提供。マスク、手指消毒液の備蓄と配置を実施した。高齢者世帯・障害者へは現段階ではチラシなど特にしていない。今後老人団体も含め検討していく。

問 小中学校や今後の各種行事の対応はどうか。役場の業務継続計画や町

民への職員対応マニュアルの策定はどうか。

答 保育所や小中学校へは手指消毒液を配備した。手洗い、うがい、マスク着用の徹底や感染時の保護者への協力依頼などを、校長会を通じて指示した。ピークは9月末から10月ごろと考え、各種行事については中止も念頭に状況を見て対応する。業務継続計画や対応マニュアルも行動計画策定の中で検討していく。



安部俊三 議員

Q 郡中総体の結果をどう見ているのか

A 部活動は教育的な価値を基本に充実を図る

問 今年度の郡中総体の結果をどう見ているか。

答 3中学校の優勝から3位は22種目で、昨年より6種目の減である。新学習指導要領の導入を踏まえ、今後も部活動を通しての教育的な価値を基本に充実を図る。

問 小中学校の長期欠席状況と減らす方策は。

答 不登校児童生徒は、現在、小学校3名、中学校10名である。ここ2、3年で約半数近くまで減らすことができた。教員、

自立支援相談員、スクールカウンセラー、関係機関などが連携して、児童生徒・保護者との相談などを行い、改善に努めていく。

問 町内中学校の生徒指導上の問題発生状況とその対策は。

答 8月29日現在、校内暴力0件、盗難2件、家出1件、いじめ2件、万引き1件となっている。心配なことは、携帯メールを使うなどの見えないところでのいじめである。

学校、大人が早く察知することで未然防止を図りたい。

問 今年度の教職員年次有給休暇取得割合は。また、今後教職員の健康保持増進に関する配慮は。

答 全体の取得割合は58・4％となっている。労働安全衛生法にルーズで、長時間勤務に鈍感になっていたが、危機感から、昨年度、健康管理対策要綱を作成し、教育委員会に報告することになっている。



部活動で心身共に成長(船迫中学校)



森 淑子 議員

Q 在宅高齢者に
軽度生活援助を

A 将来の検討課題とする



みんなで食べるとおいしいね(自立者支援通所事業「春風」)

問 在宅の高齢者が閉じこもりにならないよう、通所事業の実施場所を増やせないか。

答 通所事業は1カ所当たり650万円かかるので事業所を増やすことは困難である。行政区の意見を取り入れながら、太陽の村への移動サービスの提供などを考えたい。

問 介護保険に該当しない高齢者へ、軽易な家事援助ができないか。

答 「在宅福祉サービス・家事援助サービス」とし

て町社会福祉協議会のほか6事業所が有償で行っている。

問 白石、角田、大河原、村田で行っているが、村田では買い物・掃除・布団干しなどの生活援助を週1回1時間以内、1時間当たり300円で行っている。本町では町社協が600円、他の事業所では1千円、利用者には負担が大きい。助成できないか。

答 今後の政策の中で必要性、どこまでが行政水準として適正なのか、今

判断に困っているというのが実態である。

問 配食サービス再開は、民間の力をかりて配食サービスができないか検討中である。

答 通院や買い物に高齢者の足の確保が必要。タクシー利用料の助成ができないか。

答 生活支援交通システムを整備する中でタクシー利用券についても検討する。

景気と雇用の悪化に伴い国内で病気で医療機関にかかれず、命を落とす事件が起きている。

問 雇用悪化で国保加入者の増加がみられるか。

答 平成21年度は、7月までに国保加入世帯が112世帯増えている。

問 その中で短期保険証を発行されている世帯は、

答 短期保険証は国保加入世帯全体の6.4%、354世帯に発行している。

問 国民健康保険法44条にもとづく窓口負担(病

院での支払い)の軽減制度の運用状況は。

答 窓口負担の減免は平成18年の10月から行っているが、まだ申請が一件もない。県内でもほとんど申請がないようだ。

問 制度に低所得の要件を加える考えは。

答 厚生労働省で窓口負担の保険者徴収制度という形でモデル事業を進めてきているので、その推移も見ながら考えたい。

問 窓口負担の減免と生活保護との境界をどのよ

うに考えるか。

答 通常3カ月を基準に考え、3カ月を超えても困難が続けば生活保護への相談を進めるように考えている。

問 役場内でのさまざまな相談の場面で、連携ができないか。

答 一つのセクションだけでなく庁舎内の各課の連携で町民の相談に乗っていきたいと考えている。

Q 経済的困窮者に
医療費窓口負担の
軽減を

A 国の動向を見ながら
すすめたい



広沢 真 議員



だれもが安心して医療を受けられるように



高橋たい子 議員

Q 「(仮称)しばた食と農の町民条例」制定の考えは

A 農業・農村の振興を図るには有効な手段



今年も実りました

平成12年、宮城県では「みやぎ食と農の県民条例」が将来にわたり農業・農村の振興に努めることを宣言し、その目標を広く明らかにし、県民と共通理解のもと達成するために制定された。

問 町の農業が個性ある持続的発展と、自然、資源、伝統文化、自然生態系などの保全を通じて農業・農村の多面的機能の発揮に向けた取り組みも我が町には必要不可欠である。県にならって、我が町でやれる柴田版の「(仮称)しばた食と農の町民条例」を制定したうえで基本計画を策定し、農業・農村の振興に取り組むべきである。

答 農業・農村の持つ多面的機能が発揮されるよう行政も積極的に支援しなければならぬ。農業・農村の振興を図るためには、食と農の町民条例制定は有効な手段と考え、町の「農業」や「食」をどのようにしていくのかについて大いに議論していかねければならない。もちろん策定後は行政や農家、消費者それぞれの責務のつととして、農業・農村の振興に積極的にかかわっていく意欲と、新たな取り組みや仕組みづくりが重要になってくる。先進事例などを研修し、条例制定に前向きに取り組んでいく。



佐々木守 議員

Q 観光協会をどのように見直し、新しい組織はどのようなものなのか

A 行政主導ではなく民間的手法で柴田町観光物産協会を設立



歴史が息づく柴田町(奥州街道一里塚)

問 観光協会の見直しを検討しているが、どのように見直し、また、どのような組織をつくり、どのような人材を活用するつもりなのか。

答 従来のような行政主導ではなく、民間的手法で新たな観光施策を展開できる組織を目指す。例えば、社団法人を設立し、(仮称)柴田町観光物産協会として、事務局長には民間の人材、観光事情をよく理解した行動力・企画力・経営能力のある定年退職をされた方などの活用を考えている。

問 観光物産協会とするのは、太陽の村運営組合を合併して観光および町特産品の販売も視野に入れてのことか。

答 (仮称)柴田町観光物産協会が設立されたならば、太陽の村に事務局を置き、町内における観光資源と地場産品等を企画提供し、地域経済の振興と商業の活性化に寄与したい。また、槻木地区に点在する観光スポットをめぐりながら、時間を過ぎせるウォーキングのメッカにしたいという夢をもっている。

問 観光協会のみならず産業、商業、農業の担い手の人材育成は。

答 観光・農業・商工業・環境とも各分野では人材育成や調査研究に取り組んでいるが、今後は異業種間が連携した6次産業化を推進する必要性が増してきている。



佐藤輝雄 議員

Q 一刻も早い
鷺沼排水路の
改修工事を

A 早期に事業着手できるように
努力したい



大河原町と共同で事業が進められる鷺沼排水路

平成14年9月に柴田町・大河原町両町議会に請願書が提出され、両町議会建設常任委員会合同による現地調査が行われた。その対策は国土交通省の雨水整備補助事業で取り組むこととし、基礎調査については平成15年に大河原町と委託負担に関する確認書を締結、平成16年より基礎調査が実施されておられ、また、本町の産業建設常任委員会でも今年6月、現地調査を行い、早期着工すべきと提

言している。

問 地元説明会の内容と大河原町との確認書はどうなっているのか。

答 地元説明会では常時滞水している状況や地下水による影響など地域の現況を考慮してほしいという不安の声や、大河原町との合同説明会の開催、明確な事業実施時期などの要望が多く出された。確認書は大河原町と基本的調査業務委託を実施年度ごとに取り交わしている。

問 今後の残委託事業とその費用、さらに補助事業は何年度スタートか。

答 予想される工期と費用は一期4年で21億円くらいである。補助事業をスタートするための必要な作業を平成22・23年にかけて予定しており、最終的には大河原町との調整や、諸々の調整事項が整った後、町の施策や財政状況を勘案しながら早期に事業着手できるように努力していく。



佐久間光洋 議員

Q 築60年の
子育て支援センターの
建て替え計画はあるか

A 大型児童センターとして
23年度に建て替えを目指す



子育て支援の拠点施設(子育て支援センター)

問 子育て支援センターの早急な建て替えが必要だということ、6月の一般質問で子育て支援センターの耐震指数が提示された。その結果は安心できるものではなく、安全確保の観点から早急な建て替えが必要だと思われる。町は子育て支援センターをどのように考えているのか。

答 子育て支援センターの施設は船迫児童館内にあり、東西方向のX方向が上部構造評価0・34、

南北方向のY方向が0・43、北側のトイレ部分は東西方向のX方向が0・24、南北方向のY方向が1・09という耐震診断結果であった。

本施設は子育て支援の拠点施設として位置づけていることから、施設の安全対策の必要性を痛感しており、今後10カ年待機事業の耐震改修計画に組み込むこととしている。県の子ども家庭課に行つた際のアドバイスマもあり、現在、大型児童センター

の採択の可能性を子ども家庭課長に打診しているところである。これについては一般財源の確保のめどがつき次第、平成23年度の建設を目指す、今、県に働きかけている。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

白内恵美子 議員

問 乳幼児健診時におけるハイリスク家庭の把握と、支援は十分に行われているか。

答 把握は十分行っている。関係機関と連携を図り虐待の発生予防の視点で支援をしている。

問 育児不安解消のため、理由を問わずに預かる一時保育を住民と協働でつくるべきでは。

答 民間活力との連携は重要かつ有効な選択肢の一つ。町独自の支援策を模索し充実を図る。

舟山 彰 議員

問 本年度上半期の学校教育の重点課題及び施策の状況は。

答 学力向上、いじめの早期発見、安全・安心な教育環境の整備に努めている。

平間奈緒美 議員

問 年代を問わず憩いの場所となる公園整備の計画は。

答 プレーパークづくりが新栄4・5・6号公園に整備できないか今後研究していく。

水戸 義裕 議員

問 乳幼児にリスクの高い病気である細菌性髄膜炎 Hib (ヒブ) ワクチン接種に公的助成を。

答 公的助成の自治体は少ない。国の動向や先行自治体、供給体制の情報を収集し検討する。

安部 俊三 議員

問 行財政改革推進で、町職員数の急激な削減により、職員の仕事量が過重になっていないか。

答 職員の仕事量は増加していると認識している。定数適正化計画の見直しに取り組んでいる。

広沢 真 議員

問 宮城県沖地震と豪雨災害が重なったときの対策を考えているか。

答 台風の最中に地震があったときの想定で災害本部と職員の配置体制を決めている。

佐藤 輝雄 議員

問 柴田町民体育館の2階構造部分が耐震診断で0.16、体育館を閉鎖すべきと思うが。

答 重要課題であり、ある程度の制限を加えながら運営をすべきとの意見もある。

問 新たにできた地域再生対策監の仕事の内容は。

答 特命事項はコンパクトシティ構想の推進、地域再生戦略と寄附条例に関することである。

佐久間光洋 議員

問 投票立会人の数を減らしてはどうか。また、若い人を人選したり一人あたりの負担を減らす方を望む。

答 公職選挙法第38条の規定に基づき人選も含めて適正に配置している。

問 太陽の村の整備計画に関連して、アクセス道路の拡充を求める。

答 上野山の林道整備事業が採択されるよう働きかける。村田町側については協議する。

問 ごみ減量について、町民の協力を分かりやすく広報する工夫を望む。

答 ごみ減量の推進と施設の管理などの状況を広報し、理解と協力を求めるよう努める。

常任委員会レポート

各常任委員会は
年4回各課の仕事
を調査しています。

総務

■日時 平成21年7月13日～14日
■調査内容

- ・消防緊急通信指令施設
- ・仙南地域広域行政事務組合滞納整理課
- ・北船岡集会所と今後改築予定の集会所
- ・槻木事務所の現況
- ・交通安全施設等の新設・改良状況

計画的な交通安全施設の改良新設を

《企画財政課》

今後建て替え予定の27区集会所は、住民と行政の話し合いを基にして計画及び建設を進めること。

集会所は、災害時身近な避難所として利用することを考慮して、雨漏りや側溝の整備などの修理改善に努めること。

《まちづくり推進課》

交通事故を減らすために新設した規制標識の周知に努め、今後も計画的な交通安全施設の改良新設を進めること。



また、子どもや高齢者の安全・安心のため、関係機関との連携を強め、交通安全意識と交通マナーの向上を推進する。

文教厚生

■日時 平成21年7月14日・16日
■調査内容

- ・町内小・中学校における図書室及び児童用トイレの現況
- ・むつみ学園移転施設

小・中学校に洋式トイレの設置を

《教育総務課》

(1) 小・中学校における洋式トイレの設置状況は、学校間でばらつきがある。昨今の生活様式の変化を考慮し、学校の年次修繕計画に児童用「洋式トイレ」の設置を組み入れ、順次改修すること。

(2) 学校図書室は、内容が古くなったものの、背表紙の文字が読めない破損・汚損した図書が多くみられた。学校図書は鮮度が命と言われることから、廃棄する選択肢が必要である。

図書購入にあたっては、生徒の声を直接取り入れている学校もあり、図書選定の際、生徒の声を取り入れる機会を検討すること。また、子どもの読書活動推進からも、各学校に司書の配置を検討すべきである。

産業建設

■日時 平成21年6月30日・7月1日・8月10日
■調査内容

- ・町営住宅の管理運営状況
- ・四日市場排水機場
- ・四日市場鬼石沢地区排水路工事
- ・鷺沼排水区公共下水道事業雨水計画
- ・ポスト柴田町観光協会

西船迫保育所付近の路上駐車解消を

《地域産業振興課》

新四日市場排水機場の施設機能保全を図るため、保守管理を計画的かつ定期的に行い、あわせて、対象地域の排水路についての効果を検証すること。

《都市建設課》

西船迫町営住宅の出入口周辺の道路に、路上駐車をしている県営住宅入居者の車両が見受けられる。付近には西船迫保育所があり、利用者の安全確保及び火災発生時の緊急車両の通行面から大変憂慮すべき問題である。早期に県へ要望し、協議すること。

《上下水道課》

鷺沼排水路事業については引き続き、大河原町との協議を進め、早期着工に努力すること。

議会懇談会を開催します

議会では、議会の活動を町民の方々に報告するとともに、議会や町政に対する意見・要望などを直接お聞きするために、下記の日程で「議会懇談会」を開催いたします。

当日は、次の内容で行います。多数のご参加をお待ちしております。

- (1) 平成 20 年議会懇談会での要望事項等の報告
- (2) 平成 20 年度議会活動報告
- (3) 懇談 1 テーマ「子育てしやすいまちづくり」
- (4) 懇談 2 町政・議会全般について



平成 21 年 柴 田 町 議 会 懇 談 会

開催日時	会 場	対象行政区	担 当 議 員
11月11日(水) 午後7時～9時	保健センター (4階)	1、2、3、4、5、6A、 6B、7A、7B、8、 9A、9B	・広沢 真 ・星 吉郎 ・高橋たい子 ・森 淑子 ・平間奈緒美 ・佐藤 輝雄
	槻木生涯学習 センター	13、14、15、16、 17A、17B、18A、 18B、19、20	・舟山 彰 ・加藤 克明 ・大坂 三男 ・佐々木裕子 ・安部 俊三 ・我妻 弘国
	船迫生涯学習 センター	10、28、29A、29B、 29C、29D	・水戸 義裕 ・有賀 光子 ・大沼 惇義 ・白内恵美子 ・佐久間光洋 ・佐々木 守
11月12日(木) 午後7時～9時	農村環境改善 センター	21、22、23、24、 25、26、27	・広沢 真 ・星 吉郎 ・高橋たい子 ・森 淑子 ・平間奈緒美 ・佐藤 輝雄
	西住公民館	30	・舟山 彰 ・加藤 克明 ・大坂 三男 ・佐々木裕子 ・安部 俊三 ・我妻 弘国
	船岡生涯学習 センター	11A、11B、11C、 12A、12B	・水戸 義裕 ・有賀 光子 ・大沼 惇義 ・白内恵美子 ・佐久間光洋 ・佐々木 守

■ 指定された会場以外でも参加できます。

臨時託児所開設のお知らせ

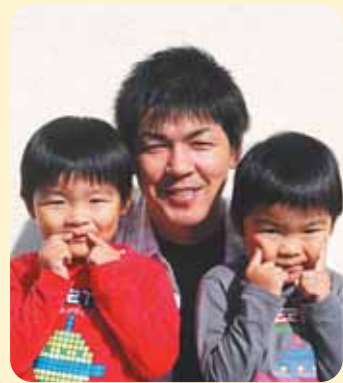
各懇談会場に無料の臨時託児所を開設します。

利用を希望される方は 11月5日(木)までに議会事務局へお申し込みください。

■ 問合せ先 柴田町議会事務局 ☎ 55 - 2136

■ 主 催 柴田町議会

あなたの一言



いな がき あきら
稲垣 晃 さん
(船岡東二丁目)

●柴田町に住んで感じたことは

雪が少なく暖かいので過ごしやすいです。また、散歩をしているときなど近所の方々が気軽に声をかけてくださるのでとても嬉しく思います。

の笑顔も増えると思います。

●議会だよりを読んでいますか

町の現状もわかりますし、普段顔をあわせる機会が少ない議員の方の言葉も載っているのので一通り読んでいます。

●柴田町の好きな風景は

とてもきれいな星空です。

●議会、議員に何を望みますか

町民が不安を感じず安心して生活できる町づくりをお願いします。新しい議会は女性が3分の1を占めるこのことですので、より細やかな政策と、その実現を期待しています。

●町に何を望みますか

子どもから大人まで気軽に体を動かせるようなアスレチックや大型遊具がある大きな公園が欲しいです。家族や友人たちと楽しく過ごす時間が増えると町民

未来へ向けて

「子育てしやすいまちづくりとは」

公開議員研修会を開催

9月26日東北福祉大学の岩淵勝好教授を招いて公開議員研修会を開催しました。

岩淵教授は冒頭に「子育てを支援するなら何よりも親の働く場所が重要」としながら、新聞記者として、研究者として国の機関や大学、子育てにかかわる現場の経験に裏打ちされた子育て支援のあり方をわかりやすく講演していただきました。

当日は議員の他、町民の方や民生児童委員、保育士、保育士を目指す高校生など52人が参加して熱気あふれる研修会になりました。



編集後記

新型インフルエンザの動向が大変心配される今日このごろです。

10月20日から船岡城址公園で開催の「大菊花展」に足を運びました。愛好者の皆さんの心をこめた作品が好事に展示され、菊の薫りで全身を包んでくれました。至福のひとつときを持つことができたことに感謝すると同時に、開催を一生懸命支えている実行委員会や開催関係者の方々に、より多くの人が会場を訪れることこそ何よりの励ましになることを改めて強く感じました。

今号の編集に当たりましては、大菊花展の心意気に負けまいという気持ちで取り組みました。しかし、編集委員一同いつもながら試行錯誤の連続で、ご期待に添える内容になりましたかどうか。ぜひご感想をお寄せください。

広報委員 安部 俊三

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第4回定例会は

12月11日(金) 午前10時開催予定

一般質問は

12月14日(月)・15日(火)・16日(水)の予定

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページに議会会議録を掲載

議会会議録は町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」に掲載しています。



柴田町のホームページ

<http://www.town.shibata.miyagi.jp>